

公民館の本のこと

先月から公民館のロビーで『旅する本』というコーナーを作っています。図書室の本がたくさんの人に渡るように、ぼくと事務員の吉野さんがひと月交代で、“実際に読んだ本の紹介”という少しの思いを乗せて本を送り出そうと思います。本がいろいろな場所を巡っていきますように。

さて、今月の『旅する本』は吉野さんからの紹介です――

本は読んだ方がいいのだろうと大人になるにつれて漠然と思っていた、読書と言えば「活字ばかりの本」というイメージが勝手に先行していました。読もう読もうと思うほどしんどい。今でも活字ばかりの読書は全然定着してなくて、この歳になって本なら何でもいい、公民館だよりのようなフリーペーパーでもいいと思っています。漫画、雑誌、絵本、図鑑、レシピ本など、1つをきっかけに何かを知る、たとえ忘れてしまっても、どこかに残っていくものがある気がします。

そこから「活字の本も読んでみようかな」と思う日が来れば、それはそれで嬉しい。まずはもっと気軽にいい。毎日の中に小さな発見や彩りが増えたり、「本は読まないけど、この本の紹介コーナーは楽しみ」と思ってもらえたりしたらいいなと思います。

なのでまずは子供でもいいけど、大人が読むと面白いかもという絵本を紹介します。



旅する本 今月のおすすめ



『ぼくは川のように話す』
ジョーダン・スコット（文）、ジョン・シムズ（絵）
原田勝（訳）／偕成社

光は物を見えやすくするという効果がありますが、その時の人の感情を繊細にうつしだしてくれるものでもあると思っています。

文字に頼りすぎず、絵に頼りすぎず、人の物の見え方や感情を上手に表現されている絵本です。

作者の一人で、吃音のあるジョーダン・スコットが子供の頃に悩んだ実体験を基に書かれています。

公民館に見開きで置いてありますので是非お手に取ってみてください。

その他のお知らせ あらためて『3B体操』の案内です。
毎月、第4金曜日の13：30－14：30、参加費は500円。
（8月28日、9月25日、10月23日）ぜひご参加ください！



日和大元神楽を体験！ 食べられそうになりました！

今月号の公民館だよりの題字とイラストは、坂根 流空 さんが書いてくれました。（イラストは、本当はお母さんが描きました）
りくはいま、町外の料理を学ぶ学科のある高校に行っています。どんどん成長していくりく。むちゃくちゃ応援してるから！

- お話も聞きました。
- ① いま、学んでいることを教えてください。
－料理について学んでいる
 - ② 日和を少し離れてみて、どうですか？
－日和はとても居心地がいいから、大人になって戻ってきたい
 - ③ いまのところの、将来の夢を教えてください。
－調理師になって、邑南町の活性化の手伝いをしたい

週末りくが寮から帰ってるときに、家族のご飯を作る時があるそうで。（内緒だけど、りくのお父さん、むちゃくちゃ嬉しいんだって！）



公民館のこと、日和のこと



5月24日（日）森の学校『森を食べる』会

森の学校事業は矢上公民館・産業支援課との共同主催で、“森に触れる体験”を行っています。今回は開催場所を日和公民館近辺とし、八十八（やそや）の山根みゆきさんと樹冠ネットワークを講師に迎え、坂根弘子さんにもご協力をいただきながら、親子を対象に日和の里山の環境を学び、食べる体験を行いました。

『森を食べる会』では、講師からの里山の森林環境や山のめぐみについてお話を聞いたのち、参加者による野草摘みを行いました。摘んだよもぎや野草によるかき揚げを、たけのこご飯や八十八から提供いただいた鹿肉のソテーなどと一緒にいただき、初めて食べる参加者からは「ちょっと苦い、、、」と、自然の味を体験しました。

（山根みゆきさん、樹冠ネットワークのみなさん、坂根弘子さん、ご協力ありがとうございました。）

6月26日（金）矢上小3年生『日和たんけん』

矢上小学校3年生によるふるさと学習『日和たんけん』を実施しました。日和たんけんでは、大利峠、ビレッジプライド邑南、ユーディーグリーン、日和トンネルを回り、日和の歴史や仕事に触れます。ビレッジプライド邑南では「ふるさと納税」「矢上高校寮の食事づくり」などについて、ユーディーグリーンでは「菌床シイタケ」について、日和の“食”にまつわるお話などをいただきました。

（ビレッジプライド邑南のみなさん、ユーディーグリーンの上田さん、ご協力ありがとうございました。）

7月2日（木）矢上小4年生『神楽体験』

矢上小学校4年生のみなさんと日和大元神楽団によるふるさと学習『神楽体験』を実施しました。団長からの日和大元神楽についてのお話から始まり、太鼓や手打ちがねの奏楽体験、衣装の試着、そして神楽演目の鑑賞と、あっというまの2時間でした。

児童のみなさんからは、衣装の重さや神楽の舞い方などたくさんの質問があがり、日和の神楽や神楽団の方たちのことを知って、触れて、考えてもらうことができました。

（日和大元神楽団のみなさん、ご協力ありがとうございました。）

7月6日（月）ときわ会・西保育所『合同運動会』

今年も日和老人クラブときわ会のみなさんと、いわみ西保育所さくら組園児のみなさんによる『合同運動会』が開催されました。種目には、子どもたちによるダンスの披露やスイカ割りのほか、輪投げやペタンク、各種競争など、子どもたちと大人のみなさんで一緒に取り組む競技がたくさんありましたが、年齢に限らず、大きな声といい笑顔にあふれた会場となりました。みなさんお疲れさまでした。



7月13日（月）矢上小4年生『日和しごと』

矢上小学校4年生のみなさんと坂根弘子さんを講師に迎え、「畑しごと、手しごと、日和しごと」をテーマとしたふるさと学習『梅しその梅酢漬け』を体験しました。ふだんお家で食べている梅しそは、どういうしごとを経てできているのか――

まずは畑でしそが生えている姿を見学して少しだけ収穫。調理室に戻り、きれいに水洗い。葉を摘み、よく水を切る。ビニール袋に入れて塩でよく揉む。そこに梅酢を合わせると鮮やかな透明感のある赤色！に、ぱあっと変化しました。この手間と梅酢による変化が「畑しごと、手しごと」だとすると、「日和しごと」の醍醐味のひとは、坂根さんのおしゃべりだったんじゃないかなと思います。しごとをしながら、そのあと一緒にお茶をしながら、たくさんのおしゃべりを楽しむことができました。

（坂根弘子さん、ご協力ありがとうございました。）



石見地域 コミュニティ・スクール

〔コミスクとは、「学校運営協議会」という会議体を設置した学校のことです。地域ごと（羽須美・瑞穂・石見）に設置し、地域と学校が連携・協働しやすくなる仕組みづくりについて熟議していきます。〕

5月28日（木）に第1回目となる石見地域のコミスクが開催されました。学校PTAや各地区からの住民代表、学校関係者、公民館主事などによるコミスクの委員と、石見地域小中学校の学校長が参加し、各学校の経営方針についての共有や、参加者全員での「自身の考える“目指す子ども像”」の発表を行いました。「目指す子ども像」では、多様な視点により『ふるさと』『挑戦』『人と関わる』というキーワードが見えてきました。

1年目となるコミスクは今年度内に4回程度の開催が予定されており、子どもや子どもを取り巻く環境などについて多様な視点で熟議を進めていきます。

【問合せ：邑南町教育委員会 学びのまち推進課（0855-83-1127）】